



まちの フォトNEWS

NEWS

大人への第一歩を踏み出しました

平成23年 成人式



新成人の門出を祝う「成人式」が、市民会館で開催され、華やかな振り袖や袴、スーツ姿の新成人1,006人が参加し、大人への第一歩を踏み出しました。

会場は、旧友との再会を喜び合う新成人の笑顔であふれ、思い出話で盛り上がり、互いの晴れ着姿を写真に収めたりしていました。

式典では、新成人を代表した松本真緒さんが「自覚と責任を持った立派な社会人になりたい」と決意を发表。式典終了後には、運営委員会が企画したアトラクションなども行われ、笑顔が絶えることはありませんでした。
(1月9日)



梯子乗りの妙技、 間近で見る消防車に大興奮！

消防出初式



新春恒例の「消防出初式」が、市民会館、ウララ広場、霞ヶ浦湖畔を会場に行われました。

消防団員の表彰や消防車両の分列行進のほか、土浦鳶組合による木遣り歌や梯子乗りも披露され、さまざまな技が決まると、集まった見物者から驚嘆の声が響きわたりました。

また、霞ヶ浦湖畔には44台の消防車両が集結し、訪れた子どもたちは、間近で見る消防車に大喜び。防災ヘリコプターの合図とともに一斉に放水されると、観客からは大きな歓声が湧き上がりました。（1月8日）



無病息災を祈る「どんど焼き」

どんど焼き



しめ縄や松飾りなどを燃やし、1年間の無病息災を祈る正月の伝統行事「どんど焼き」が桜川河川敷で行われ、親子ら約600人が参加しました。

持ち寄せられた正月用品は3mほどに積み重ねられ、勢いよく燃え上がると、訪れた子どもたちは、その炎を固唾をのんで見守っていました。

その後、ふるまわれた餅を竹に刺して火であぶり、健康を願いながらおいしそうに食べていました。（1月15日）

経済産業大臣、内閣府副大臣が 市内を視察

経済産業大臣・内閣府副大臣視察

大島産業経済大臣（現国土交通大臣）が県内の企業や金融機関などを訪問。本市では、駅前商店街やモール505などの現状を視察しました。

土浦商店街連合会との意見交換が「まちなか交流ステーション」で行われ、大島大臣は「元気なまちづくりに向けてのより一層の取り組みが必要」と話していました。（1月6日）



子ども・子育て新システムの参考とするため、末松内閣府副大臣が土浦幼稚園の視察に訪れ、教室や展示物を見学しました。

その後行われた幼稚園園長などとの意見交換では、幼稚園と保育所の一元化や講師・保育士の待遇問題、少子化対策などについて話し合われました。（1月11日）